

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立梅島小学校 校長 篠 達司

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,903 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 114.9%（前年度末 112.8%）									
	② 新規購入図書 591 冊 ／ 廃棄図書 451 冊 ／ 増減冊数 140 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	1.4%	0.7%	6.5%	7.0%	13.4%	4.8%	3.7%	7.2%	2.3%	52.9%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時 昼休み（月木）（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 41.6 冊（前年度：41.7 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 72.5%（前年度：71.4 冊）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

児童の読書に対する意欲向上に向け、読書週間やおはなし給食の実施等の様々な取り組みを通して本の楽しさに触れる機会を設けることができた。多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす活動に取り組んだ。また、豊かな心情と幅広い知識を身に付けられるような蔵書構成や環境整備、授業展開に努めた。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
①学校図書館を利用し、授業で読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりして、本を手にする機会が増える。 ②学校図書館の利用の仕方について知る。 ③絵本や読み物について読書し、その内容や感想を友達に伝えることができる。					①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が80%以上。 ②学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ③各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。年間2回以上、クラスで交流する。					
目標達成状況										
①各クラス月2回以上、読書等の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合は平均72%で目標を達成できなかった。学年貸出の活用を広め目標達成につなげていく。 ③学校図書館オリエンテーションを100%実施でき、図書館利用の仕方について理解を深められた。										
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりすることができる。 ③図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容や感想を友達に伝えることができる。					①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が80%以上。 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③年間2回以上発表カードを作成しクラス内で交流する。					
目標達成状況										
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が平均75%で目標を達成できなかった。学年貸出の活用を広め目標達成につなげていく。 ③国語の授業を活用し、年間2回のクラス内交流を行えた。										

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本をじっくり読み、それに関連する本についても興味の幅を広げながら読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、調べたり、読書したりすることができる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。	①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が65%以上。 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が65%以上。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が69%で目標を達成できた。 ③計画的に学年で取り組み、調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は100%と達成できた。	

第4学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、調べたり、読書したりすることができる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が65%以上。 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が平均71%で目標を達成できた。 ③調べる学習コンクールへの参加は4%で目標を達成できていない。コロナ禍において9月の始業が遅れ、体験的活動の時間確保が難しかった。	

第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、比較して読んだり、深めたりしながら読書することができる。 ③複数の本や新聞等を活用して調べたり考えたりしたことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が50%以上。 ②各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上。
目標達成状況	
①各クラス月1回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が平均55%で目標を達成できた。 ③計画的に学年で取り組み、調べる学習コンクールへの参加は100%で目標を達成できた。	

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、比較して読んだり、深めたりしながら読書することができる。 ③複数の本や新聞等を活用して調べたり考えたりしたことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が50%以上。 ②各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上。

目標達成状況
①各クラス月1回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。 ②春・秋の読書週間を利用して、1日に30分以上本を読む学年児童の割合が平均54%で目標を達成できた。 ③調べる学習コンクールへの参加は0%で目標を達成できていない。コロナ禍において9月の始業が遅れ、体験的活動の時間確保が難しかった。

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <p>6月初旬に巡回販売の手配ができ、新規購入図書購入リストを6月までに一次計画を作ることができた。また、不足する0類では10年ぶりの改定となったポプラディアを購入し、蔵書構成の向上と充実予算の活用にも取り組むことができた。</p> <p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館オリエンテーションの実施や企画展示等、支援員との積極的な連携・協働に取り組めた。 ・授業に必要な資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行い学年で活用することができた。 ・支援員やボランティアとの連携を深め、児童が活用しやすく、また感染症拡大防止の視点を考慮しながら安全な学校図書館づくりを実践することができた。 <p>【その他】</p> <p>図書ボランティアと連携し、学校図書館案内図の配置や、見出し盤の入れ替えなどを行い、子ども達が主体的に本を選べるような環境整備を進めることができた。</p>
--

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

<p>中央図書館の方法と合わせ、児童の手洗いを徹底し貸出を行った。感染症拡大防止対策として距離を確保して席を配置したり、十分距離を取って読み聞かせを行ったりした。安全な図書館運営を目指し児童が安心して読書を楽しめるよう努めた。</p> <p>また、多様な分類の本に親しむよう学校全体で取り組んだことで、9類の文学作品に親しむ機会が増えたり、児童が好きな本を楽しんだり、幅広い分類の本に親しむことができていた。</p>
--

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

<p>読書週間では新たな取り組みとして、栄養士、図書館ボランティアの協力のもとおはなし給食を実施した。関連する本を読み語りしたり、作品紹介を掲示したりすることで、食を通して新しい本の楽しみ方を感じることができた。また、家庭にもカードの振り返りに協力してもらうことで、家族で読書について話題とするよい機会となった。</p>
--

7 今後の展望 —課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて—

<ul style="list-style-type: none"> ○支援員と図書担当で連携を密にとり、計画的に活動計画に取り組み、学年目標を達成できるようにする。学校全体で教科横断的な計画を立て、調べる学習コンクールの参加率を向上させる。 ○読書週間では開館日数を増やし、委員会児童による企画展示に取り組む等、児童が主体的に読書を楽しめるような工夫を検討していく。 ○新規本棚購入による、廃棄・新刊配架を進める。それに合わせ図書ボランティアと連携をとり児童目線でわかりやすい館内案内図を更新する。
